

住民自治協議会 『福に富む郷

竹仁』会報

平成30年10月
第64号



竹仁のえんがわ 10月9日(火)午前10時～

日常生活を見直すきっかけづくりとして
骨そしょう症のための食事・運動について一緒に学びましょう！

今回のえんがわのテーマは“**食べて動いて骨を元気に**”運動が中心の講座ですが、プリントを用いて食事の一般的なことを先生がご指導くださいます。講師は「すこやか健康体操」でお馴染みの 酒井 紀子 先生で、河内支所の山田谷さんもお参加です。動きやすい服装と、汗拭きタオルをご持参の上、ご参加ください！

健康で自立した生活を言くれる期間を表す「健康寿命」が全国で広島県は下から二番目！女性は73.62歳で最下位です。平均寿命が延びている中10年以上は「健康ではない」状態の人が多く、ということになります。骨粗しょう症を予防し、**骨を健康に保つことは健康寿命を延ばす**ことにもつながります。お誘い合わせの上、是非ご参加ください！

お昼はカレーをご用意します。お申し込みがなく、当日いきなりご参加でも大丈夫ですが、大体の目安が必要となりますのでご参加のお申し込みは10月5日(金)午前中までに地域センター(435-2301)までよろしくお願い致します！午後からは映画鑑賞です。リクエストお待ちしております！



高垣市長と語る ～わがまちNO.1・ふるさと夢トーク～

8月19日に「高垣市長と語る～わがまちNO.1ふるさと夢トーク」が東広島市の中で一番最初に福富町が開催地に選ばれ、竹仁からは事務局3名が参加しました。

まず市長から「東広島のまちづくり」についてと題し、人口の推移(市全体で自然現象の傾向がある)や東広島市の課題(①大学生の卒業後市外流出：東広島の大学を卒業後、東広島への就職率は3% ②都市機能の不足：中心市街地の機能が弱い ③産業成長力の持続：公的産業団地の分譲率が100%で、新たな企業を誘致できない ④周辺地域の過疎化)や、30年度福富町関連予算(①福富小中一体型施設の整備 ②支所内に設置された「地域すくすくさぽーと」 ③10月28日開催予定の「こども未来フェスタ」)の説明の後、7月の豪雨災害の被害と対策状況についての説明がありました。

その後「地域からの意見発表」という形で、3自治協の会長から各自自治協の現状と地域の課題に対する要望を出しました。竹仁からは①基幹産業としてきた農家の衰退と後継者不足 ②空き家の増加と山を含む荒廃地の増加 ③鳥獣被害対策 ④沼田川上流と3本の支流の土石流対策 ⑤交通弱者対策を含む公共交通の確保を挙げました。

久芳や上戸野からの ①避難所の充実 ②災害時の情報伝達 ③買い物支援などと併せて要望に対する対策について、何か動きがあればまたお伝えします。

一緒にやりましょう！

7月に予定していた「エディブルスクールヤードを知ろう！」という企画が、残念ながら今回の災害で中止となりました。連絡が行き届かないところが

あり、ご迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした。

護岸修復は間に合わないかも知れませんがしゃくなげ館再開に合わせ、11月24日（土）

25日（日）に仕切り直してイベントを開催します！

そこで正式にご披露させていただきますが、9月11日

に有志で「アースオーブン」を作成しています。

薪を燃やして熱を上げたら1分でピザが焼けます！

その他、温度次第で焼き芋や魚の干物も焼けます。

そしてこの窯は移動可能です！楽しみですね！

現在は乾燥させている段階で、次は上塗りをします。



10月16日(火)10:00 ~

豪雨で一部破損したアースバッグハウスの補修作業も行います。

また、この日は「菜園計画」もスタートです！しゃくなげ館の芋畑の片隅をお借りして、地域センター職員の正木を中心としてピザの材料となるような作物を育てていきます。

講師は9月に引き続いてカイル ホルツヒューターさんです！カイルさんは、アメリカ、ウィスコンシン州マディソン市のご出身。日本大学生物資源学科で博士号を取得後、京都の左官技能専修院を修了し、現在も研究に勤めながら日本を始め、アジア、欧米各国の様々な現場で活躍しておられる方です。「広島の良い人100人」に選ばれた左官職人の岡下さん(中組)と一緒に仕事をされる仲であり、アースバッグハウスを作ったヴァン君の師匠にあたる方です。

10月10日(水)午後7時 ~

第2回 民泊説明会

「農家民泊」と「民泊」は違う？！「住宅宿泊事業者」としての届け出には期間や費用がどのくらいかかるの？大変？…ご興味のある方へは事前に資料をお渡しします。お気軽にどうぞ！

おしらせ

・【防犯・防災・空き家対策部会】9月14日に部会が開催され、主に災害時の対応について話し合われました。

7月の豪雨以降、地域センターでは4回避難所開設をしております計5回の避難勧告の際、地域センターだけでなく各集会所や支所へ避難された住民の情報を共有し、次の災害時にはもっと各地区内とセンターや市との連携をスムーズにしたいと思えます。今後、災害発生時にセンターへ避難するのが危険な場合（豪雨時は下の駐車場が完全に浸水しました。台風程度でしたら問題ありません。）や、地域外に出るよりもご近所の人同士で避難されたい場合は、お近くの集会所で構いません。下記の各地区の世話役へご連絡の上、お近くの集会所を開設してもらってください。（※平成30年度中：来年の3月31日まで）防災無線廃止の後、地域内の被災状況がわからない為動けなかった、との意見もありました。可能な限り各地区内の状況情報を集約してください。センターからも世話役へ情報を伝えます。

新開：大石 伸明さん 中組：大野 治さん、渡辺 弘行さん 下組：佐々木 芳彦さん
市組：小野 研二さん（土石流発生時は、集会所が危険個所にあります。ご注意ください。）
公領：井口 宣貞さん 郷谷：出島 康彦さん 宮郷：間所 克成さん
天神：杉原 伸夫さん 下の谷：児玉 喜文さん

・【景観・環境部会】10月10日（上竹仁）、24日（下竹仁）は不燃粗大ごみの収集日です。昨年度全戸配布の「ごみぶっく」や市のホームページで出せるもの、出せないものをご確認いただき、小さな物は必ず指定の袋（紫の有料ゴミ袋）に入れ、夫々ご記名の上出してください。